

安全上のご注意

安全上の重要なご注意

この取扱説明書には、アイロボットの規格管理番号RVD-Y1に該当する製品情報が記載されています。

この取扱説明書は大切に保管してください

⚠ 警告:電化製品を使用する際は、以下の基本的な注意事項に必ず従ってください。

説明をすべて読んでください

⚠ 警告:ケガや損傷のリスクを低減するために、ロボットの設定や使用、お手入れの際には次の安全上のご注意をお読みの上、指示に従ってください。

本製品をお子様や、身体・知覚・思考能力が著しく低下している方が単独で使うことは絶対にお止めください。ご使用の際には安全に使用できる環境下、かつ、製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用するようにしてください。お子様が本製品で遊ばないようにご注意ください。また、そのような監督者のない環境下でのお子様によるご使用、清掃やお手入れは、絶対に行わないでください。

⚠ 安全上の警告を示す記号です。人体に損傷を及ぼす可能性を警告します。
ケガや死亡を防ぐために、必ず、この記号に続く安全上のメッセージに従ってください。

⚡ 感電のリスク

□ クラス II 機器

⚡ 定格出力 (DC)

📖 取扱説明書を読む

♻️ 一般的リサイクル記号

🔥 火事リスク

🏠 屋内専用

⚡ 定格入力 (DC)

🚫 お子さまの手の届かない場所に置くこと

⚡ 定格入力 (AC)

🔌 取り外し可能な電源

警告: 回避しないと重度のケガや死を招く恐れのある危険な状況を示します。

危険: 回避しないとケガにつながる危険な状況を示します。

注意: 回避しないと床・家屋・家財等の損害の原因になる危険な状況を示します。

一般



- ロボットは玩具ではありません。ロボットを使用する際には、小さなお子様やペットに注意してください。
- ロボットやホームベースの上に座ったり、立ったりしないでください。
- 充電器は必ず純正のものを使用してください。純正以外の充電器を使用されると、バッテリーが加熱したり、煙や着火、爆発が発生する原因になります。
- ロボットには、お住まいの地域で承認された電源コードが付属しており、家庭用コンセントのみに差し込むことを想定して設計されています。他の電源コードは使用しないでください。電源コードを交換する場合は、お住まいの地域に適した電源コードについて、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。
- ロボットやホームベースを開けないでください。電子部品にはユーザーが修理できる部品はありません。修理が必要な場合は、資格を持つサービス担当者にご連絡ください。
- 感電のリスクを防止するために、必ず濡れていない室内で使用してください。
- ロボット本体やホームベースに濡れた手で触らないでください。
- ロボットは室温で保管し、使用してください。
- 清掃する部屋にストーブ、扇風機、加湿器などの機器がある場合は使用前に移動させてください。機器が電化製品の場合はコードを抜いて移動させてください。ロボットが接触することで機器の向きが変わ

ったり、倒れたり、操作部が押されたりすることにより、火災、ケガ、事故、故障を招く恐れがあります。安全に注意してご使用ください。

- 清掃する部屋にバルコニーがある場合は、本製品がバルコニーに出ないようにドアを閉めるなど、物理的に遮る必要があります。安全に配慮してご使用ください。
- 火気のある場所や、引火性の高いものの近くで使用したり、バッテリーを装着したままで可燃性スプレーを使わないでください。
- 食用油や機械油を吸わせないでください。
- 充電直後は、ルンバ裏面やホームベースの充電端子に触れないでください。
- 取扱説明書で指定されている水洗い可能な部分以外は、水洗いしたり濡らしたりしないでください。
- 雷が鳴ったら、電源プラグに触らないでください。
- 落下の恐れのある高いところや不安定なところで使わないでください。
- ルンバの排気口をふさがないでください。
- ルンバの排気口から金属や燃えやすい異物などを入れないでください。
- 故障や異常があるときは使用しないでください。
- 電源コード、ホームベース、電源プラグを、無理に曲げる、引っ張る、重い物を載せるなどの行為により破損しないでください。
- お手入れの際は必ず電源を切ってください。
- お手入れや持ち運びの際は、指をはさまれないように注意してください。
- ブラシやフィルターは、ルンバの純正品を使用してください。
- 家庭用のコンセント(交流 100V)で使用してください。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持ってください。
- 万一、製品から煙がでたり、変なにおいがしたり、製品が過熱したときは、ただちに使用を中止してください。また製品からバッテリーや乾電池を取り外してください。煙がでなくなったことを確認し、アイ

ロボットサービスセンターにご連絡ください。お客さまによる修理は、危険ですから絶対におやめください。

- 電源コードは本製品以外に使用しないでください。

危険

- 電源コンセントが露出している床での使用は避けてください。
- ロボットが電源コードを引っ張ると、テーブルや棚の上にある物に引っかかり、落下する恐れがあります。ロボットを使用する前に、床から衣類、紙類、ブラインドやカーテンの紐、電気コード、その他壊れやすいものを取り除いてください。
- ロボットは自走式です。ロボットが清掃している場所を歩くときには、誤って踏まないようご注意ください。
- 本製品を尖ったもの、ガラス、燃えているものや煙が出ているものの清掃には使わないでください。
- 動作中はルンバの裏面に触れないでください。
- センサー、バンパー、車輪にシールやテープを貼らないでください。

注意

- ロボットは、濡れていない床でのみご使用ください。濡れたものをロボットで吸わないでください。ロボットやホームベースを濡らさないようにしてください。
- ロボットの上に物を置いたり、ロボットを投げたりしないでください。
- 充電器の接触部が汚れていると、ロボットのバッテリーを正しく充電できないことがあります。

ホームベース

警告

- コードやプラグが破損したホームベースは使用しないでください。コードやプラグが破損した場合は、交換する必要があります。

- 清掃とお手入れの際は、必ずホームベースからロボットを取り外してください。
- ロボットに充電する際は必ず、製品に付属の電源コードを使用してください。付属のホームベースと電源コードは、ロボットが安全に動作するための適正な電圧を供給します。
- ロボットが落下するリスクを防止するため、階段から1.2メートル以上離れたところにホームベースを設置してください。

注意

- 変圧器は使用しないでください。変圧器を使用すると、保証が無効になります。
- 落雷の多い地域にお住まいの場合は、外付けのサージ保護装置を使用することを推奨します。サージ保護装置を使用すると、激しい落雷による被害からホームベースを保護できます。

バッテリー

警告

- 開けたり、壊したり、高温にならないようにしてください。また火中に投げたり、加熱したりしないでください。取り扱いについてはメーカーの指示に従ってください。
- 金属類をバッテリー端子に近づけたり、水洗いしたり濡らしたりして、バッテリーをショートさせないでください。またバッテリーに機械的衝撃を与えないでください。
- バッテリーパックに破損や液漏れがないかを定期的に確認してください。損傷したバッテリーや液漏れしたバッテリーを充電しないでください。液が身体に付いたり目に入ったりしないように注意してください。液が身体に付いたり、目に入った場合は水でよく洗い流し、医師に相談してください。バッテリーは、密封できるビニール袋に入れ、お住まいの地域の環境規制に従ってリサイクルするか、安全に破棄してください。



- お子様がバッテリーに触れないよう、ご注意ください。セルやバッテリー端子を飲み込んでしまった場合は、医師に相談してください。

注意

- バッテリーパックはリサイクルまたは破棄する前に、ロボット本体から取り外してください。
- ロボットの性能を十分に発揮させるため、必ず付属のiRobotリチウムイオンバッテリーを使用してください。
- 非充電式のバッテリーは使用しないでください。製品に付属の充電式バッテリーのみを使用してください。交換する場合は、同じiRobotバッテリーを購入するか、他のバッテリーの選択についてアイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。
- バッテリーは常に充電し、長期間保管する場合はロボットや付属品から取り外してください。

使用上のご注意

ルンバは一般家庭用の製品です。ほかの用途にはご使用いたされません。ルンバを快適に、より安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

使用できない場所

- 傷みやすい敷物や床材、壁材
- 毛足の長いカーペット
- デリケートなカーペットやムートン、フェルト素材の敷物
- 柔らかい材質や黒および濃い色のフローリング床面
- ワックス塗られて、またはフロアコーティングをしたフローリング床面（ご使用前に施工業者にご相談ください）
- デリケートな建材（漆喰やけいそう土などの塗り壁）

ルンバが故障しやすい場所

- 毛足の長いカーペットの上、ふとん、毛布、マット、ベッド
- 高く不安定な場所、風呂場などの濡れた場所
- ストーブなど高温になる機器の周辺
- タイル張りの床、大理石等の石材の床、コンクリートの床、屋根裏、石畳、屋外、倉庫、工場

ロボット掃除機が落下する恐れのある場所

- 吹き抜けに面し、落下防止柵のないロフト
- 急こう配の階段
- テーブルの上など狭くて高い場所など

事前に準備（片づけ、移動）が必要なものや場所

安全かつ快適にご使用いただくためのご注意として清掃の前に、壊れやすい物、吸い込まれると困る物は片づけてください。

とりわけ、スケジュール機能やホームアプリなどを使用し、外出時に清掃を行う場合は、入念に事前準備を行ってください。

保護する必要があるもの（ルンバが振動を与えたり接触する可能性があります）

- ・ 塗漆りなど傷のつきやすい光沢のある家具や置き物、屏風など
- ・ 軽い振動で倒れたり壊れたりしやすい陶磁器類、ガラス工芸品類、姿見など
- ・ 机や台などが受けた軽い振動により、破損や落下する恐れのある陶磁器類など
- ・ 吸い込まれやすいもの（アクセサリーなど）

移動する、片付ける必要があるもの

- ・ 水、油（食用油、機械油など）、揮発性の高い液体類（アルコール、ベンジン、ガソリンなど）を含むすべての液体
 - 片づけてください
- ・ 電気ストーブ、扇風機などの電化製品
 - 電気コードを抜いて移動してください
- ・ ロボット掃除機が衝突して機器が移動・転倒し、火災や破損につながる可能性があります
- ・ ベッドなどの排泄物
 - 片づけてください
- ・ 電気機器やパソコンのコード
 - 絡まないようにまとめてください
- ・ カーペットやマットの端の長い房など
 - 内側に折り込んでください
- ・ 床につくほどの長いカーテン
 - 持ち上げてまとめてください
- ・ 床面近くに操作部のある機器
 - 移動してください

ロボット掃除機が当たって機器の操作部を押すことがあります

- ・ タバコ、ろうそく、線香などの火気
 - 片づけてください
- ・ 粘着性のあるもの（粘着式の害虫駆除シートなど）
 - 片づけてください
- ・ 布団、座布団、クッションなど
 - 片づけてください
- ・ 書籍、冊子、雑誌など
 - 片づけてください

落下防止のための注意が必要な場所

- ・ 階段、踊り場、ロフトなど
- ・ 玄関の上がりがちな道

上記のような段差のある場所では、パーチャルウォールまたは物理的な障害物を設置してください。

ルンバの動作を妨げる場所

- ・ 高さ10cm未満の狭い場所を、ルンバは走行できません。ルンバの通路をふさぐものを、あらかじめ移動させてください。
- ・ 床の敷居や段差などは、高さによりルンバが乗り越えられない可能性があります。走行中に引掛かってしまう場合には、ルンバが入り込まないように準備してください。
- ・ 床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識して、前に進まなくなることがあります。

バッテリーの正しい使いかた

ルンバは内蔵されたバッテリーで動作します。使いかたを誤ると、バッテリーの寿命が大幅に縮んだり、バッテリーが破損することがありますので、以下をよくお読みになり、バッテリーを正しくお使いください。

注意 次の行為は、バッテリー破損の原因になります

- ・ 落下などにより強い衝撃を与える
- ・ 電源コンセントに接続されていないホームベースに、ルンバを接続する
- ・ ホームベースに接続せず、バッテリーをルンバに入れたまま1週間以上放置する
- ・ 取り外したバッテリーを、3ヶ月以上放置する
- ・ 直射日光が当たる場所や高温の場所に、バッテリーを放置する

注意 充電開始後は、リング状のランプが白色に点灯するまで中断せずに充電してください。省電力のため、約1分後に消灯します。

- ・ 充電中に、本体裏面バッテリー格納部周辺が熱くなることがあります。そのようなときは、十分に冷めるまで待ってから、ルンバを使用してください。
- ・ 使用頻度が著しく低い場合、バッテリーの寿命を縮める原因になります。少なくとも1週間に一度使用するか、充電してください。1週間以上使わないときは、バッテリーを十分に充電した後に取り外し、冷暗所で保管してください。

- ・ ルンバの電源が切れていてもバッテリーは少しずつ消費され、数日でバッテリー切れになります。充電せずに1週間以上放置すると、バッテリーが過放電（バッテリーあがり）を起こし、寿命が短くなったり破損したりします。
- ・ ルンバをご使用にならない場合でも、常に充電してください。
- ・ 充電せずに長時間放置したときは、過放電によりバッテリーが破損している可能性があります。
- ・ バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店、または協力自治体へお持ちください。安全のため、端子部が隠れるようにゼロハンテープなどを貼ってください。

お問い合わせ：JBRC

<https://www.jbrc.com/>

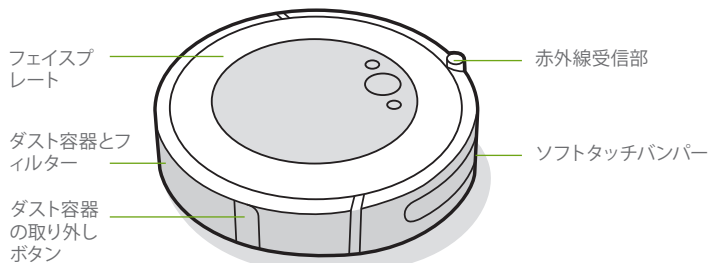


電波に関するご注意

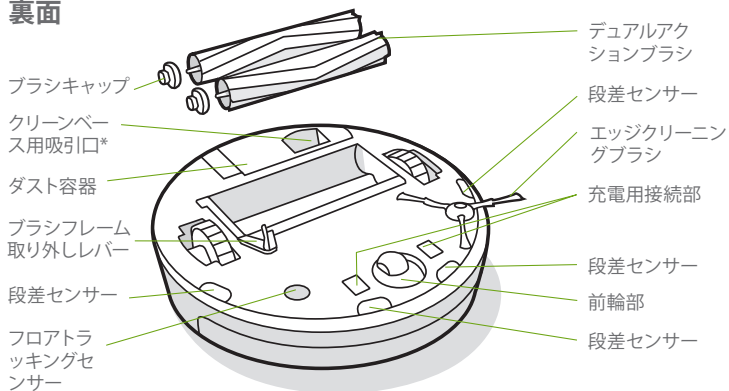
- ・ 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- ・ 以下の機器や無線局は、一部製品に搭載されているものと同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。
 - ・ 産業・科学・医療用機器（電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
 - ・ 免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
 - ・ 免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）
- ・ 以上の機器や無線局の近くに製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- ・ 心臓ペースメーカーなどの医療用機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- ・ 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください。

ロボット掃除機 ルンバ®

天面

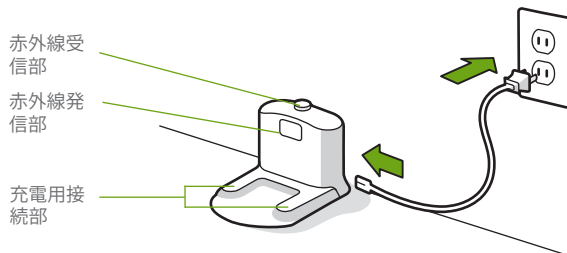


裏面

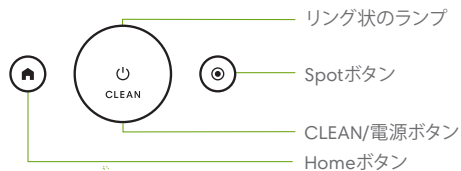


*一部機種のみ

ホームベース™充電ステーション

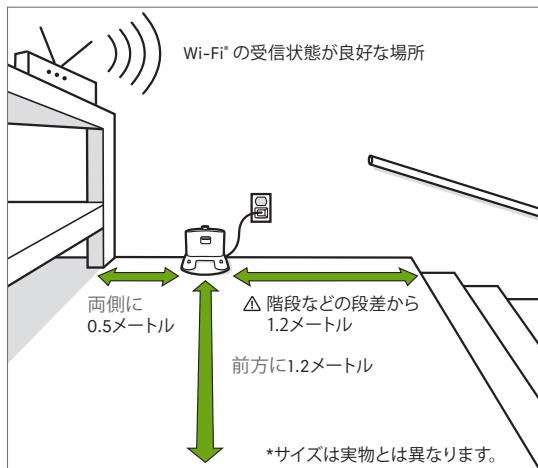


ボタンとアイコン



ロボット掃除機 ルンバ®を使う

ホームベース™を設置する



⚠ 危険: ロボットが落下するリスクを防止するため、階段から1.2メートル以上離れたところにホームベースを設置してください。

iRobot Homeアプリをダウンロードして、ご自宅のWi-Fi*ネットワークに接続する

- 説明に従いルンバを設定してください。
- 自動的に清掃を開始するスケジュール機能や、清掃モード設定のカスタマイズができます。
- 便利な使い方や、よくあるご質問と回答を検索できます。



充電中



リング状の白色ランプ (充電中)

白点灯:充電済み

白色点滅時:充電中

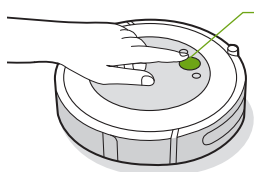
赤に点滅時:充電中/残量僅少

- ロボットをホームベースの上に置いてバッテリーを起動させます。
メモ: ロボットは出荷時に一部充電されていますが、初めて清掃する前にはホームベースで約3時間充電することをお勧めします。
- 清掃中に充電が必要になると、ロボットはホームベースに戻ります。ロボットが十分に充電されると、ロボットは中断したところから清掃を再開します。
- ホームベースに置かれている間、ロボットが消費する電力はわずかです。使用していないときに、ロボットを省電力状態にすることもできます。省電力スタンバイモードを使用する方法と説明については、iRobot Homeアプリをご覧ください。
- 長期間保管する場合は、ホームベース から取り外し、**🏠** ボタンを10秒長押ししてロボットの電源を切ります。ロボットは涼しく乾燥した場所に保管してください。

清掃する





清掃を開始する前に、床の上を片付けてください。床をきれいに保つため、ロボットは定期的にご使用ください。



CLEANボタンを押すだけ

開始/一時停止/再開するにはタップします

清掃を終了するには、3秒間押し続けてください

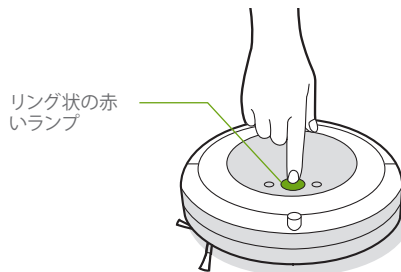
- ロボットが部屋中を移動しながら清掃します。清掃終了時や、充電が必要になるとホームベースに戻ります。
- ロボットをホームベースに戻すには、 ボタンをタップします。リング状の青いランプが点滅したら、ロボットはホームベースに戻ります。
- ロボットは、ごみが多い場所ではダートディテクト™モードに切り替わり、その場所がキレイになるまで何度も清掃します。リング状のランプが青色の点滅に変わります。
- 指定したエリアでSPOTモードを使用するには  ボタンをタップします。ロボットは直径約1メートルの範囲を中心から外方向にグルグルと円を描きながら清掃し、さらに内方向に清掃しながら開始した場所に戻ります。表示ランプは円を描くように青色で点滅します。



ダスト容器を空にする必要があると感知すると、リング状のアイコンは下方向に向かって弧を描きながら赤色に点灯します。

エラーの解決

- 何らかの異常や特殊な状況が発生すると、エラー音が鳴り、リング状のランプが赤色に変わります。CLEANボタンを押して詳細を確認してください。詳しいサポートや使い方の解説動画は、iRobot Homeアプリからご覧いただけます。




リング状の赤いランプ


バッテリー残量が低下しています。充電してください。

- ロボットが清掃を終了したか一時停止しているのか分からない場合は、iRobot Homeアプリでステータスを確認してください。

バッテリーの安全基準と輸送

ロボットの性能を十分に発揮させるため、必ず付属のiRobotリチウムイオンバッテリーを使用してください。

 **危険:**リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品を、業務、旅行、その他の理由で輸送する場合は、以下の手順に従う必要があります。

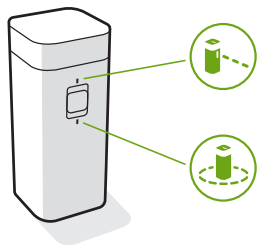
- 輸送時にはバッテリーの電源をオフにします。
- バッテリーをオフにするには、ホームベースからロボットを取り外し、 ボタンを10秒間押し続けます。すべてのアイコンが消灯します。
- 配送するためにロボットを梱包します。
- その他サポートが必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせいただくか、<https://www.irobot-jp.com/> をご覧ください。

アクセサリー

デュアルバーチャルウォール*

メモ:安全にご使用いただくために、ホームベースから2.5メートル以上離して設置してください。

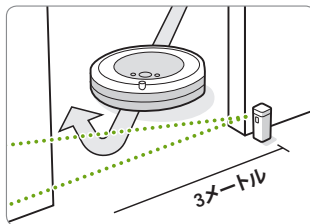
デュアルバーチャルウォール®の見えない壁は、清掃させたくない場所にロボットが立ち入らないようにします。ロボットにしか見えない壁が作られます。ご使用にならないときも、本体を所定の位置に置いておくことができます。



*デュアルバーチャルウォールは一部のモデルのみに含まれています

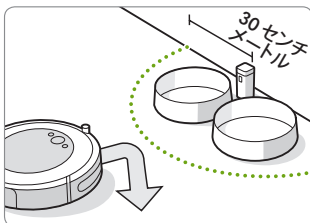
ご使用方法に合わせてモードを選択する:

バーチャルウォールモード:スイッチをバーチャルウォールの位置 (📍) に合わせると、最大3メートルの入口をふさぐ見えない壁が作られます。



メモ:この見えない壁は、本体から離れるほど幅が広くなります (イラスト参照)。

ヘイローモード:ヘイローモードのスイッチ (📍) を切り替えて、円形の壁を作ります。これにより、ペットのエサ入れ、花瓶、机の下など、保護したいエリアにロボットが近づけないようにします。ヘイローの壁は、デュアルバーチャルウォールの中心から半径約30センチメートルです。



メモ:乾電池の寿命は、通常使用で約8~10か月です。バーチャルウォールを長期間使用しない場合は、スイッチを必ず中央の位置 (オフ) にして保管してください。

お手入れ

お手入れの手順

ロボットの清掃能力を最適に保つために、以下のページの手順を実行してください。

使い方の解説動画は、iRobot Homeアプリからご覧いただけます。ロボットの吸引力が低下したら、ダスト容器を空にして、ブラシを清掃し、フィルターを清掃または必要であれば交換してください。

パーツ	お手入れの頻度	交換時期の目安*
ダスト容器	必要に応じて洗浄	
フィルター	週1回(ペットがいるご家庭では週2回)を目安に清掃します。フィルターは洗わないでください。	2か月ごと
ゴミセンサー	2週間に1回を目安に清掃する	
前輪部	2週間に1回を目安に清掃する	12か月ごと
エッジクリーニングブラシとデュアルアクションブラシ	月1回(ペットがいるご家庭では月2回)を目安に清掃する	12か月ごと
センサーと充電用接続部	月に1回を目安に清掃する	

メモ: アイロボットの製品にはさまざまな部品があります。交換部品が必要な場合は、アイロボットサービスセンターまたはiRobot®の正規取扱店にお問い合わせください。

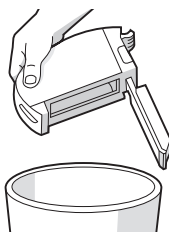
*使用状況により、交換時期の目安は異なります。摩耗した場合は部品を交換する必要があります。

ダスト容器を空にする

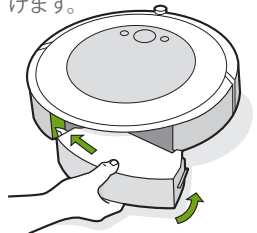
- 1 ダスト容器取り外しボタンを押して、ダスト容器を取り外します。



- 2 ダスト容器のフタを開けて、ダスト容器を空にします。

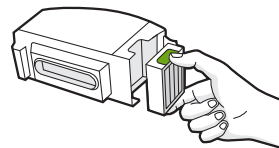


- 3 ダスト容器をロボットに取り付けます。



フィルターを清掃する

- 1 ダスト容器を取り外します。フィルターの両端をつまんで引き出し、フィルターを取り外します。



- 2 ゴミ箱の上でフィルターをはたき、ゴミを取り除きます。

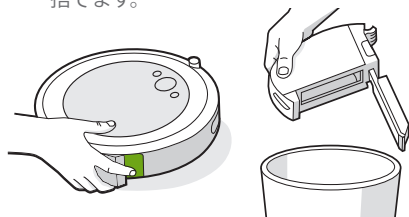


- 3 うね状に隆起したグリップを裏返してフィルターを取り付けます。ダスト容器をロボットに取り付けます。

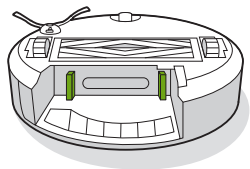
***重要:** フィルターが正しく取り付けられていないと、ロボットは動作しません。フィルターは2か月ごとに交換してください。

ゴミセンサーのお手入れ

- 1 ダスト容器を取り外し、ゴミを捨てます。



- 2 センサーを乾いた清潔な布で拭きます

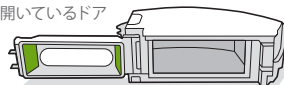


- 3 ダスト容器のフタを乾いた清潔な布で拭きます。

閉まっている
ドア



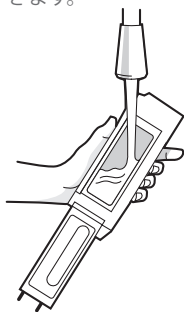
開いているドア



ダスト容器を洗浄する

- * **重要:** フィルターは洗濯しないでください。ダスト容器を洗浄する前にフィルターを取り外します。

- 1 ダスト容器からフィルターを取り外し、ダスト容器のフタを開きます。
- 2 水またはぬるま湯でダスト容器をすすぎます。

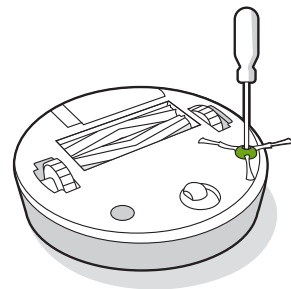


- メモ: ダスト容器は食洗機では洗浄できません。

- 3 ダスト容器が完全に乾いていることを確認してください。フィルターをダスト容器に戻し、ダスト容器をロボットに取り付けます。

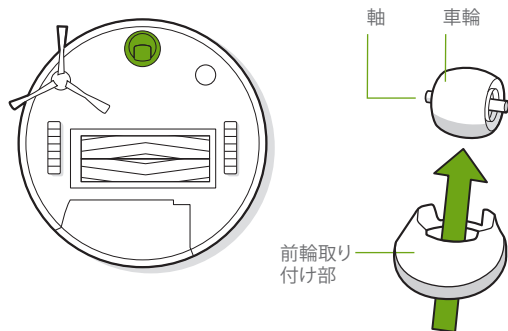
エッジクリーニングブラシのお手入れ

- 1 プラスドライバーを使って、エッジクリーニングブラシを固定しているネジをゆるめます。
- 2 エッジクリーニングブラシを取り外します。髪の毛やゴミを取り除き、元に戻します。



前輪部のお手入れ

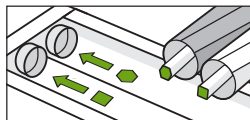
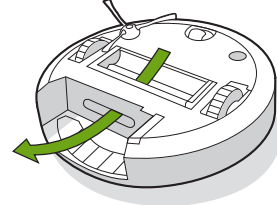
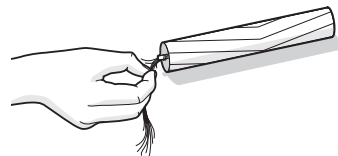
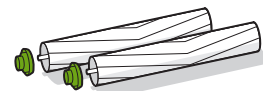
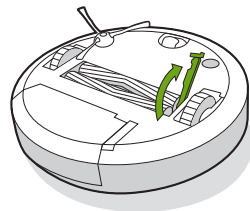
- 1 ロボットの前輪部をつまみ、本体から上に引き抜きます。
- 2 車輪をつまみ、引き抜きます（イラスト参照）。
- 3 本体側のくぼみの中のゴミを取り除きます。
- 4 ゴミが取れたらすべての部品を元に戻します。前車輪を戻す際には、カチッと音がするまできちんとはめ込んでください。



＊重要:前輪部に髪の毛やゴミが絡まると、床を傷つける可能性があります。お手入れしても前輪の動きが悪い場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。

デュアルアクションブラシを清掃する

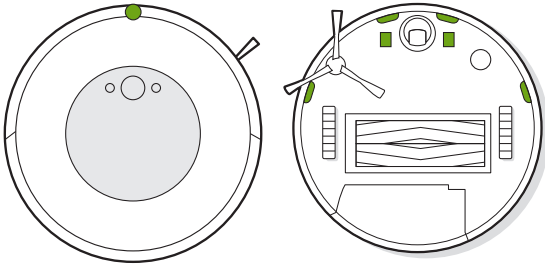
- 1 ブラシフレーム取り外しレバーを内側に寄せ、レバーを持ち上げて、異物を取り除きます。
- 2 ブラシをロボットから取り外します。ブラシの端にあるブラシキャップを取り外します。キャップの内側から髪の毛やゴミを取り除き、ブラシキャップを取り付けます。
- 3 各ブラシの反対側にある四角形と六角形の軸の周りにたまっている髪の毛やゴミを取り除きます。
- 4 ロボットからダスト容器を取り外し、吸引口にたまっているゴミを取り除きます。
- 5 ブラシをロボットに取り付けます。ブラシの軸の形を、本体側のブラシのラストの形に合わせてください。



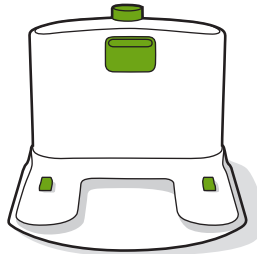
アイロボットサービスセンター

各種センサーと充電用接続部のお手入れ

- 1 段差センサー、充電用接続部、ホームベースの接続部を乾いた清潔な布で拭きます。別の方法として、メラミン樹脂スポンジを使用して、ロボットやホームベース充電用接続部に堆積したごみを取り除くことができます。



- ＊重要:**センサーに洗剤液などを噴きつけないでください。



ロボット掃除機ルンバ®に関するご質問やご意見がある場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。

<https://www.irobot-jp.com/>では、使用方法やよくあるご質問、付属品などに関する情報をご案内しております。この情報は、iRobot Homeアプリからもご覧になれます。さらなるサポートが必要な場合は、当社のアイロボットサービスセンターまでお電話ください。

アイロボットサービスセンター

- TEL : 0120-046-669 (通話無料)
- 受付時間 9:30～17:30 (月～日曜日及び祝祭日)
- 注意：修理のために交換した部品・付属品および製品は、弊社で引き取らせていただきます。製品を使用したことによって発生した損害については、製品の性質上、責任を負いかねます。製品は日本仕様です。日本国外で使用された場合、責任を負いかねます。
- 上記電話番号は、携帯からもご利用いただけます。
- 午前中は大変混み合いますので、比較的つながりやすい午後におかけください。
- 年末年始、ゴールデンウィークはお休みさせていただきます。また弊社都合によりお休みさせていただく場合がございます。予めご了承ください。
- お客様からご提供いただいた個人情報、次の目的で利用させていただきます。お問い合わせへの対応、アフターサービスの提供、製品およびサービスの品質向上のアンケート、キャンペーンその他イベントの案内(ダイレクトメール、電子メールを含みます)。詳細は <https://www.irobot-jp.com/policy/> をご確認ください。

The iRobot logo, featuring the word "iRobot" in a bold, italicized, sans-serif font. The "i" is lowercase and has a dot, while "Robot" is entirely lowercase. A registered trademark symbol (®) is located at the top right of the "t".

©2022 iRobot Corporation, 8 Crosby Drive, Bedford, MA 01730 USA. All rights reserved iRobot、アイロボット、Roomba、ルンバ、iAdapt、Virtual Wall、バーチャルウォール、Home Base、ホームベース、Dirt Detect、ダートディテクトはiRobotの商標または登録商標です。Wi-Fi および Wi-Fi ロゴは Wi-Fi Alliance の登録商標です。

